

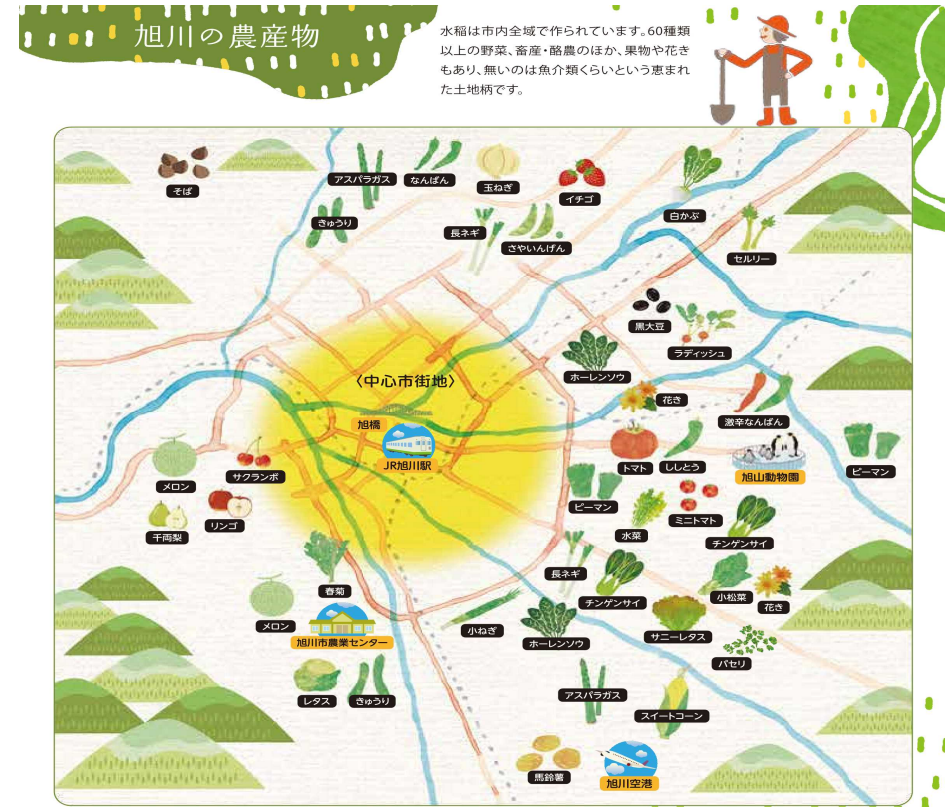
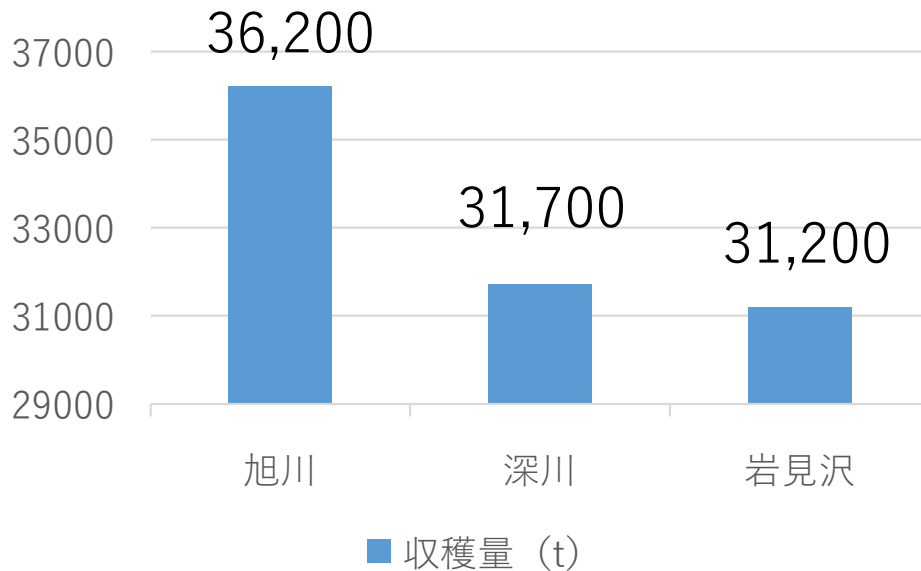
旭川未来会議 2030

農業分野ワークショップ

1 本市農業の現状について

道内トップクラスの 生産性&品質

令和3年産 水稻収穫量

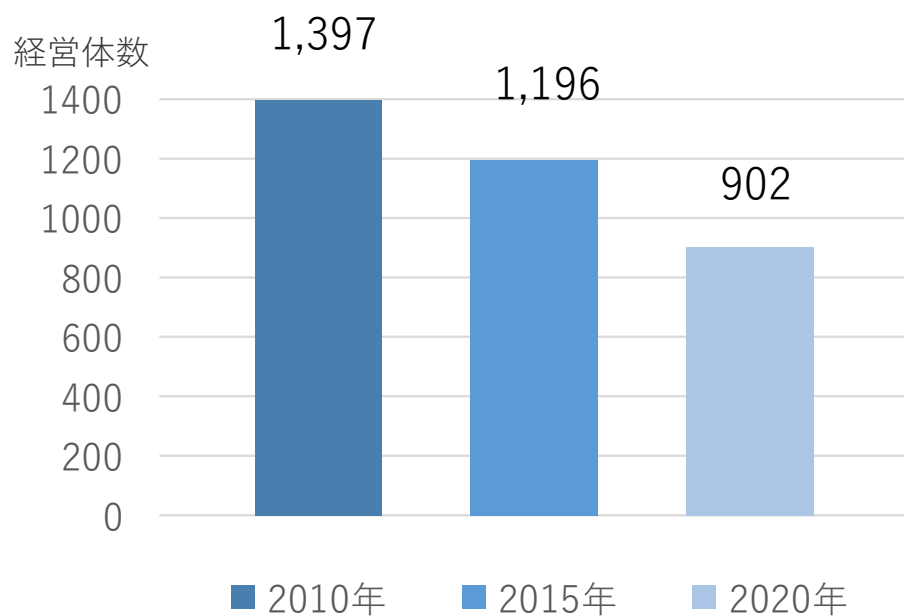


少量多品目,
幅広く様々な農産物の生産

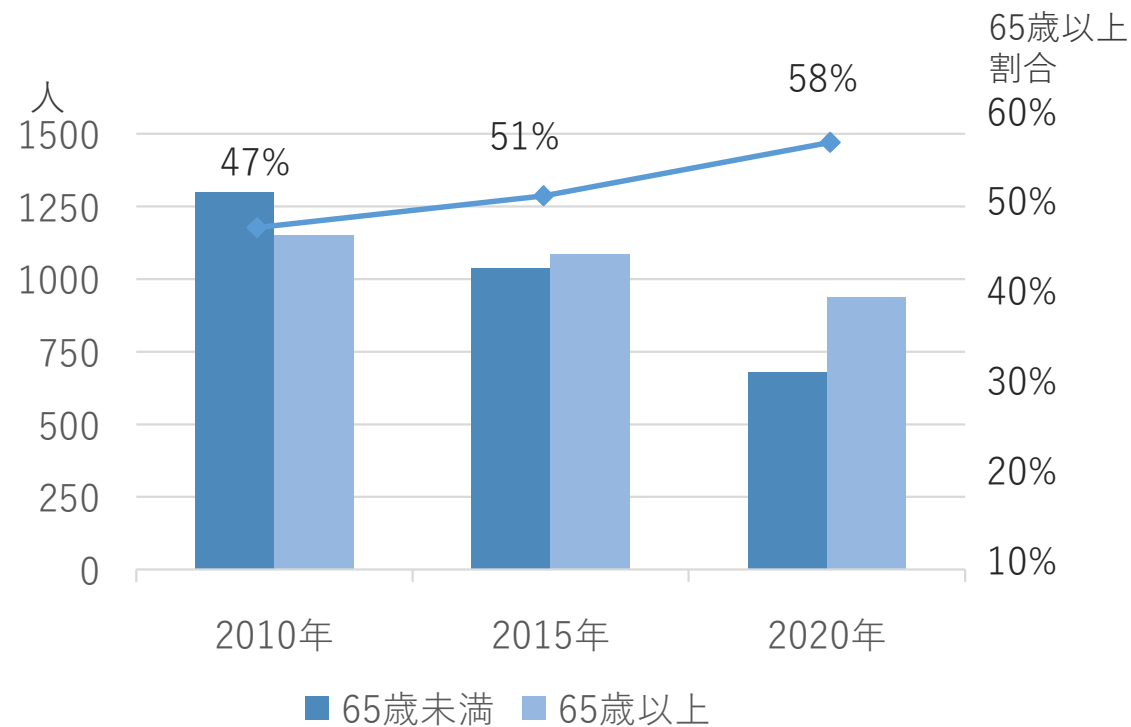
しかし、厳しい現状も・・・

- 農業者の減少と高齢化

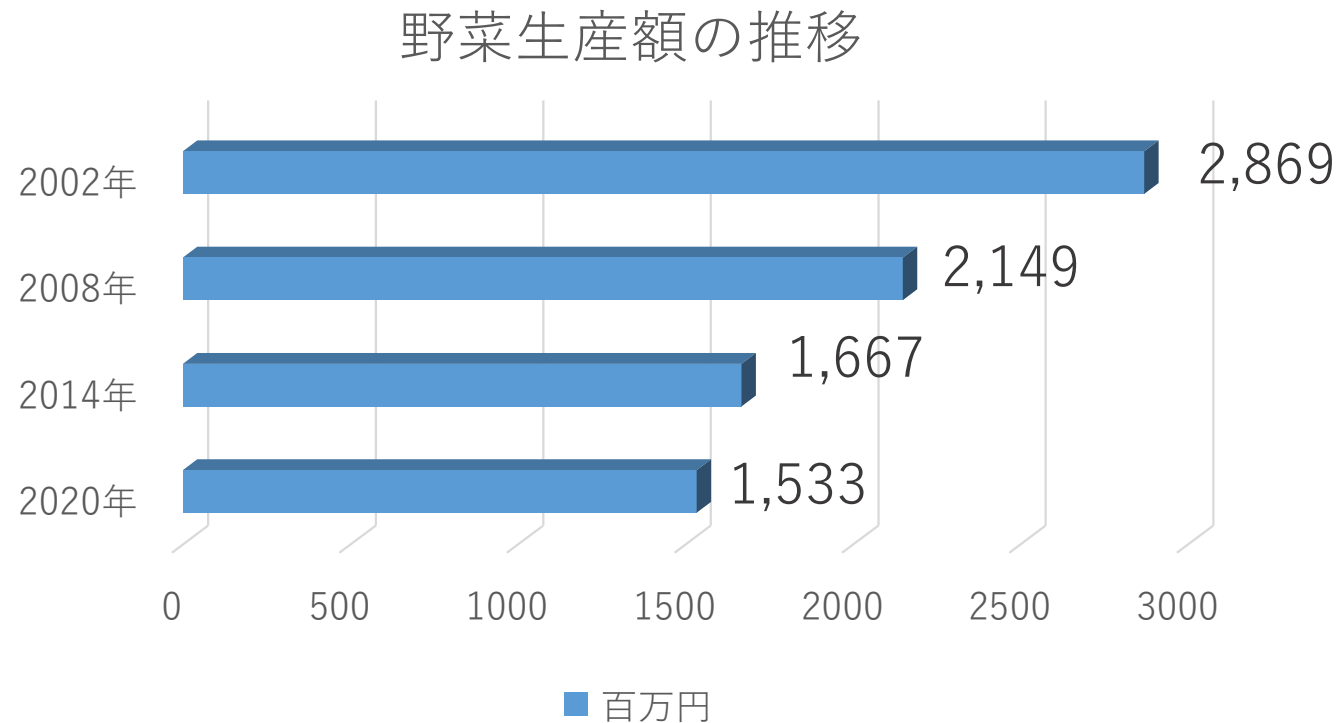
農業経営体数の推移



年齢別基幹的農業従事者数の推移



- 野菜の生産額激減



- コロナ禍の影響や国内消費の低迷により、米の需要が低下
- 水田活用の直接支払交付金の見直しや生産資材価格の高騰など、今後の営農への不安が増大

2 市の施策と主な事業（令和4年度予算）

基本政策 魅力と活力のある産業の展開

施策1 魅力の活用、発信と競争力の強化

施策2 地域産業の持続的発展

I 担い手の確保・育成

①（新）新規就農者育成総合対策費

【主要】20,250千円（06-21-20-01）
（うち一般財源 3,750千円）

認定新規就農者の就業意欲の喚起と就業後の定着及び経営発展を図るため、経営開始時の機械・施設等の導入支援及び経営開始資金を交付する。



② 新規就農確保・育成対策費

【重点】9,027千円（06-21-06-01）
【公約】（うち一般財源 8,515千円）

全国的に担い手の減少が続く中、本市農業を力強く発展させるため、地域と行政が一体となって新規就農者の受入から経営発展まで一貫した支援を行い、地域を牽引する競争力の高い経営体を育成する。

③ 担い手確保・育成バックアップ対策費

【重点】1,286千円（06-21-15-01）
【公約】（全額一般財源）

地域の農業技術力の底上げや農業女性・青年への支援により、後継者や若手農業者等の新たな担い手の育成を図るとともに、生産現場において不足する労働力の確保に向けた多方面からの対策を進めることで産地の競争力の向上を図る。

④ 園芸参加者フォローアップ強化費

【重点】149千円（06-21-17-01）
【公約】（全額一般財源）

道認定の研修教育機関として新規就農希望者を研修生として受け入れ、農業センターほ場での研修や外部講師の講義を行い新規担い手の育成を行う。また、新規園芸参加者（新規就農含む）も研修対象とし、営農面の基本技術や経営面の基礎知識等の提供、巡回指導により早期の経営安定化に寄与する。

II 持続可能な産地づくり

⑤（新）スマート農業・省力化技術導入支援費

【重点】33,000千円（06-23-40-01）
【公約】（全額特定財源）

担い手等の減少・高齢化等による労働力不足により1戸当たりの作付面積が増加、経営規模の拡大などに対応するため、スマート農業機械や省力化技術設備の導入を推進し、作業の省力化・効率化及び多収・高品質生産により農業者の所得向上を図るために必要な農業用機械の導入経費の一部を支援する。



⑥ 旭川農産物商品力向上対策費

【主要】916千円（06-11-03-01）
【公約】（全額一般財源）

旭川農産物について他産地との差別化を図り、商品力を向上させるために行う農産物の品質向上や農業技術の底上げ等につながる取組への支援を実施する。

⑧ 農産物等流通拡大支援費

【重点】4,093千円（06-11-05-01）
【公約】（うち一般財源 243千円）

農産物の付加価値向上や流通の拡大を図るため、食関連事業者と農業者のマッチング、新商品開発や道外等販路開拓、加工・販売施設等の整備などの取組を支援する。

⑩ 土づくり対策支援費

【重点】2,077千円（06-23-58-01）
【公約】（全額一般財源）

土壌診断の利用促進及び適正施肥栽培の普及を図り、生産の安定化及び営農コストの低減に資するため、土づくりについての相談・助言体制及び情報発信を強化する。

⑦ 強い園芸産地づくり支援費

【重点】9,840千円（06-23-13-01）
【公約】（全額一般財源）

足腰の強い園芸作物の産地としての維持・発展を図るため、耐久性や作業効率性が高いハウスへの建替・導入に対する取組や冬期間における園芸作物栽培に対する支援を行い、産地としての生産性を高めるとともに災害等の影響を受けにくい安定生産可能な体制づくり支援する。

⑨ 生産基盤改善促進費

【重点】8,000千円（06-23-06-01）
【公約】（全額一般財源）

市内農協を実施主体として、認定農業者または小規模農家が耕作する排水不良や石礫の多いほ場条件の改善、畦畔撤去等の区画整理に対する助成を実施することで、耕作放棄地の発生を防止し、生産性の高い営農体制づくりを進める。

⑪ 土壌診断推進費

【主要】4,105千円（06-11-06-01）
【公約】（うち一般財源 1,906千円）

健全な土づくりと過剰な施肥を抑えた適正施肥栽培の普及を図り、クリーン農業を推進するため、生産者ほ場を中心とした土壌分析診断を実施する。



III 農村地域の活性化・都市との交流

⑫ グリーン・ツーリズム推進費

【主要】1,889千円（06-24-01-01）
【公約】（うち一般財源 1,050千円）

農業理解の促進や農村地域の活性化を図るため、農家民泊など農業者が取り組むグリーン・ツーリズム関連ビジネスを支援するとともに、農作業体験などを通じて、都市住民が農業・農村に接する機会を創出する。



⑬ 21世紀の森施設管理費

【経常】45,861千円（09-11-08-01）
【公約】（うち一般財源 24,138千円）

農村と都市との交流を促進し、森林及び水辺空間における自然とのふれあいを通じて、利用者の心身の健康に寄与する。



IV 林業の活性化

⑭ 林業担い手確保・育成支援費

【重点】29,528千円（06-23-54-01）
【公約】（うち一般財源 1,576千円）

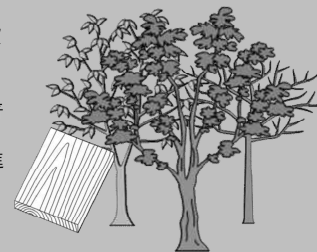
林業機械等の導入支援により、林業事業者の体制強化を図り、効率的な森林整備を促進するとともに、北海道立北の森づくり専門学院のPR支援を行うことで林業の担い手の確保・育成を支援する。

また、森林作業員の就業条件を改善し、就業の長期化・安定化を図り、森林労働力を確保する。

⑮ 木材利用・普及啓発推進費

【主要】5,470千円（06-23-57-01）
【公約】（全額森林整備基金）

森林教室の開催や森林・木材の普及啓発を行う団体等に対して支援を行うことで、森林の普及啓発を推進する。



3 農業分野ワークショップ

テーマ

米プラスの産地づくり

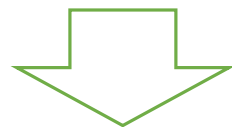
－わたしたちが描く，2030年のあさひかわ農業－

2030年を見据えたあさひかわ農業の目指すべき
将来像（ビジョン）とその実現に向けた具体的な取組を検討し、
地域特性を活かした本市農業の新たな可能性を見いだす。

4 議論・検討の方向性

基幹である水稲とともに …

- ・ 新たな経営の柱となるプラス品目の
安定的な生産体制構築
- ・ 市内外における農産物の知名度向上 ほか



◎農業者の所得向上

◎将来にわたり持続可能なあさひかわ農業の実現

5 スケジュール（案）

会議	日程	内容
キックオフミーティング （全体会議）	5月30日 <本日>	オリエンテーション
第1回WS	6月下旬～7月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・あさひかわ農業のSWOT分析（グループワーク）～現状と課題の整理 ・次回へ向け、重点テーマの絞り込み ・グループ発表（全体共有）
第2回WS	8月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・前回絞り込んだ重点テーマ毎の方向性を検討～ビジョンと具体的な取組の案出し ・報告の方向性を決定
第3回WS	10月中～下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会に向けた準備～資料作成・確認，発表者の決定
報告会（全体会議）	11月上旬	市長へ報告